

\ 日々の業務に役立つ情報が盛りだくさん！ /

ライフリズムナビ 活用セミナー

6/25 木

14:00 - 14:30

事故防止に役立つ！

おすすめアラート活用セミナー

本日のプログラム

ご入居者ごとに適したアラート設定(おすすめアラート)の考え方について、
解説いたします。
また、日々の生活リズムを把握し、事故防止につなげる活用方法をご紹介します。



本日の目次

- 01 はじめに
- 02 おすすめアラート設定パターン
- 03 事故後に確認したいデータ
- 04 データからケアにつなげる事例
- 05 まとめ
- 06 質疑応答



「アラートで事故を防ぐ」から「事故を分析する」へ

- ❌ 転倒を防ぐためにアラートを設定する
- ❌ すべての方にアラートを設定する



「転倒するのが怖いから」という理由だけでアラートを設定していませんか？
このような考えでアラートの設定を行うと、対象者が増える一方です。

アラートは、転倒の原因や発生しやすい状況、生活リズムを把握をするためにご活用ください。

「なぜ転倒が起きるのかを分析し、再発防止につなげるために設定する」という視点で運用しましょう。

おすすめアラート設定パターン

① ずり落ちによる転倒が多い方

【対象者】  寝返り:可能 /  端坐位保持:困難 / 立位:不可

=====

 おすすめアラート	 おすすめしないアラート(危険!)
ベッド活動アラート ベッド上での体動を検知して通知されるため、ベッドから離れる前、起き上がりの動作でスタッフが介入できる可能性があります。	離床アラート アラートが発報した時点で、すでに転倒している可能性があります。転倒の早期発見には有効ですが、転倒を防止する目的には向いていません。

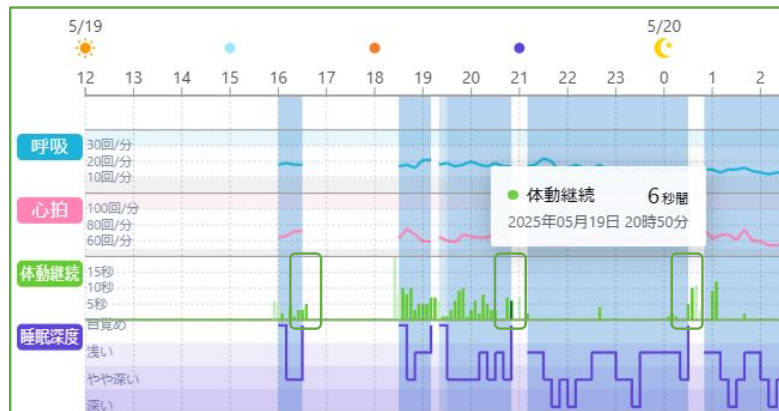
おすすめアラート設定パターン

ベッド活動アラートの秒数設定のコツ

STEP 1: 初期設定【実際の動作時間を確認】

ご自身で起き上がろうとしていただき、「ずり落ち」までにかかる時間を確認する。

👉 アラート秒数は「実際にかかった時間」に設定する(AIおすすめ秒数も参考)



ベッド活動アラート

見守り時間: 24時間 活動継続時間: 10秒 通知するタイミング: 睡眠中のみ通知 [閉じる](#)



見守り時間

☒ 24時間

☐ 時間を指定する

活動継続時間

10 秒

1~30の半角整数で入力してください

❖ AIによる分析 おすすめの設定時間は5秒です。



おすすめアラート設定パターン

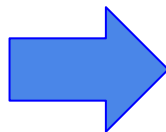
ベッド活動アラートの秒数設定のコツ

STEP 2:運用・記録【ご様子をアイコンにメモ】

アラートアイコンに「その時のご様子」を記載する。

👉 起き上がろうとしたタイミングや、秒数の傾向が見えてくる！

「アラート履歴」の既読アラートに表示されている、ペンアイコンをクリック（スマートフォンやタブレットの場合はタップ）し、コメント欄に入力してみましょう。



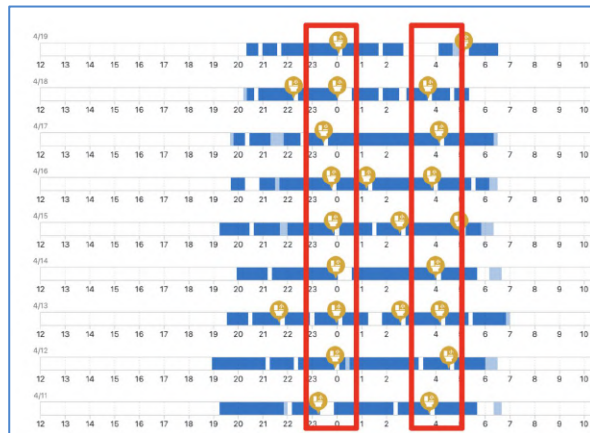
おすすめアラート設定パターン

ベッド活動アラートの秒数設定のコツ

STEP 3: 評価・改善【1週間後の見直し】

1週間後にイベントアイコンの記録を見て評価する。

👉 傾向が見えなければ【秒数を再設定】し、ちょうど良い設定になるまで繰り返す。



🎯 起き上がりに伴う体動を逃さず、ピンポイントで訪室できる状態を目指す！

おすすめアラート設定パターン

②動き出しが早い方

【対象者】  寝返り:可能 /  端坐位保持:可能 /  歩行:不安定

=====

 おすすめアラート	 おすすめしないアラート
離床アラート ベッドから離床された後に通知されるため、動きが早い方の場合は、訪室した際にはすでにトイレや居室入口付近まで移動されている可能性があります。 そのため、転倒リスクの軽減に向けて、居室内の動線を確認するなど環境整備を行うことも重要です。	ベッド活動アラート 起き上がりから離床までの動作が早い方にベッド活動アラートを設定する場合、アラート発報までの時間を短く設定する必要があります。 しかし、設定時間が短すぎると、寝返りなどの体動でもアラートが発報される可能性が高くなります。

おすすめアラート設定パターン

👁️ 動き出しが早い方への転倒防止の視点

立ち上がりから歩き出しまでの時間を作る

- 靴を履く動作で、歩き出しまでの時間的余裕を生み出す
- 訪室までの時間を確保できる可能性

「靴を履かない」の本当の理由を探る

- マジックテープが扱いにくい
- 足のむくみで履きづらい
- 夜間で靴が見えにくい
- 履く動作自体が負担

環境・物品の見直しで転倒防止へ

- 履きやすい靴への変更
- 靴の配置の工夫
- 足元照明の活用



おすすめアラート設定パターン

③歩行は自立だが、排泄介助が必要な方

【対象者】  立位・歩行:自立／  排泄介助:必要

=====

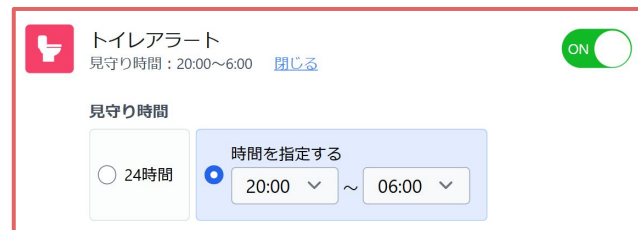
 おすすめアラート	 おすすめしないアラート
離床アラート トイレアラート ベッドから離れた時点で介入したい場合は、離床アラート、トイレに入った時点で介入したい場合はトイレアラートを設定しましょう。	ベッド活動アラート ベッド上での体動でお知らせを行うため、歩行が自立している方であれば設定は不要です。

おすすめアラート設定パターン

設定と運用の工夫

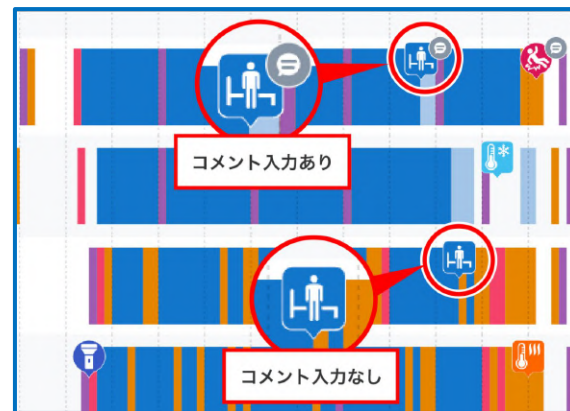
🌙 時間帯の絞り込み

眠前薬の影響などで、夜間のみ転倒リスクがある場合は、見守り時間を指定しましょう。



📝 ご様子を記録に残す

排泄ケアに入った時の歩行状態などをアラートに記録しましょう。記録がされたアイコンには、吹き出しアイコンが付きます。



おすすめアラート設定パターン

⚠ 対症療法(鳴ったら行く)のリスク

アラートが他のご入居者と重なり訪室できなければ、結果的に転倒してしまいます。
「気付くため」のアラート運用から、「先回り」の運用へステップアップしましょう。



① 振り返りと傾向把握

記録を定期的に振り返り、ご本人がトイレに起きる時間の傾向(パターン)を把握します。



② 先回りの誘導

傾向に合わせて、アラートが鳴る前に職員から声をかけ、安全にトイレへ誘導します。



③ アラートの解除

先回りの誘導が定着し、安全に排泄できるようになったら、最終的にアラートを解除します。

おすすめアラート設定パターン

④自立者の事故把握と早期発見

【対象者】🕶️見守り: 不要・自立

=====

○ おすすめアラート

ベッド不在アラート

設定した時間を超えてベッド不在が続いた場合、アラートを通知します。

見守り時間を24時間に設定すると、食事などでベッドを離れている際にも通知されてしまうため、自立されている方については夜間のみの設定をおすすめします。

✕ おすすめしないアラート

離床アラート

「念のため」という理由でアラートを設定してしまうと、アラートが常態化し、BGMのように受け止められてしまいます。

その結果、「また鳴っているだけ」と判断され、訪室につながらなくなる可能性があります。

おすすめアラート設定パターン

👁️ アラートを設定しなくても、居室一覧画面で気付く！

ライフリズムナビの居室一覧画面において「ステータスアイコン経過時間」を設定することで、センサーの反応がなくなっている経過時間を確認することができます。アラートに頼りすぎない運用も大切です。



夜間、“30分間「センサーに反応なし」の状態が継続した場合には訪室し、ご様子を確認する”など、ルールをあらかじめ決めておくことも効果的です。

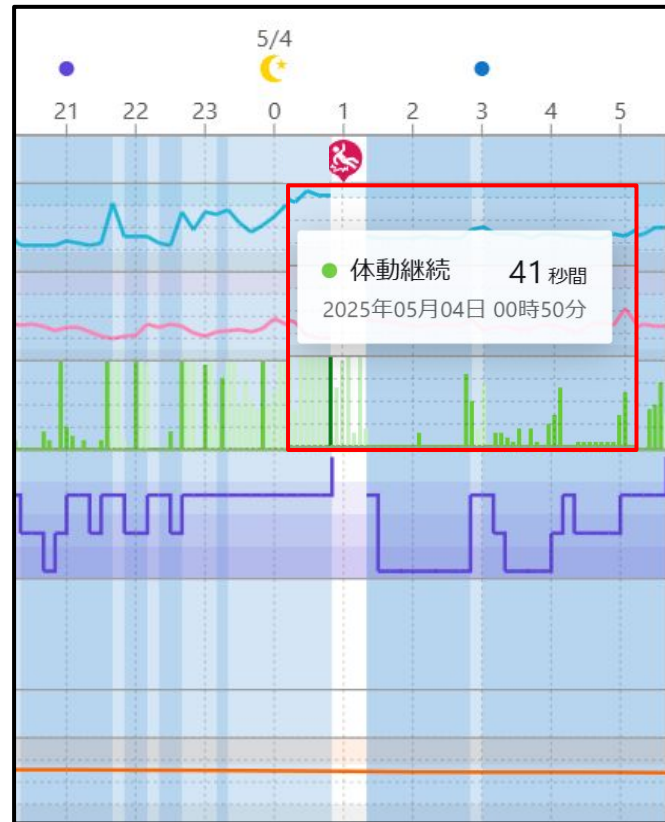
事故後に確認したいデータ

詳細データで転倒発見前に白く抜けている部分を確認しましょう。

発見時間から、時間差がある場合があります。

時間差がある場合、転倒してからの経過時間を確認することができます。

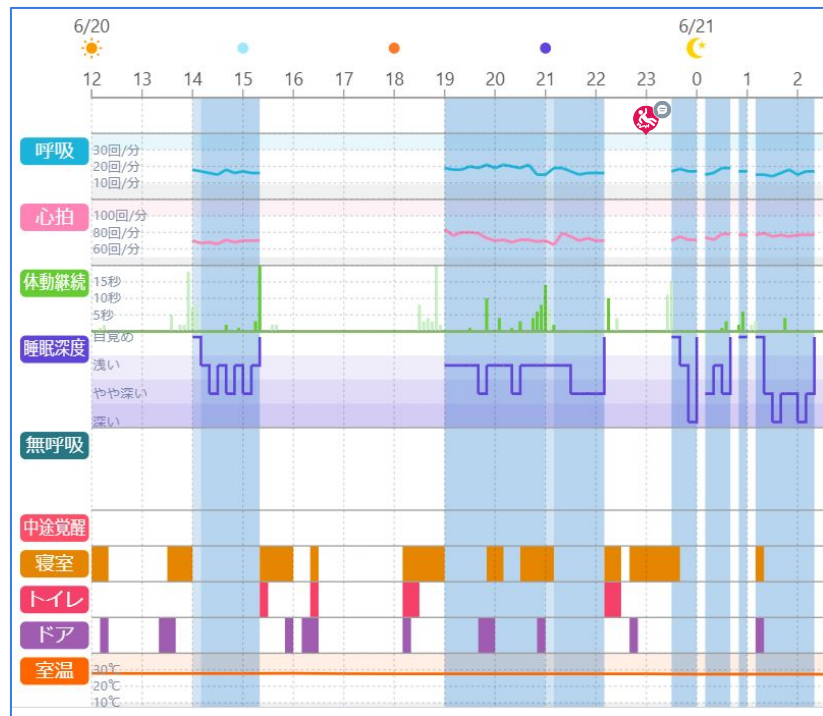
右図の場合、事故の発見時間は1時ですが、データを確認すると0時50分にベッドから離れていることが分かります。



事故後に確認したいデータ

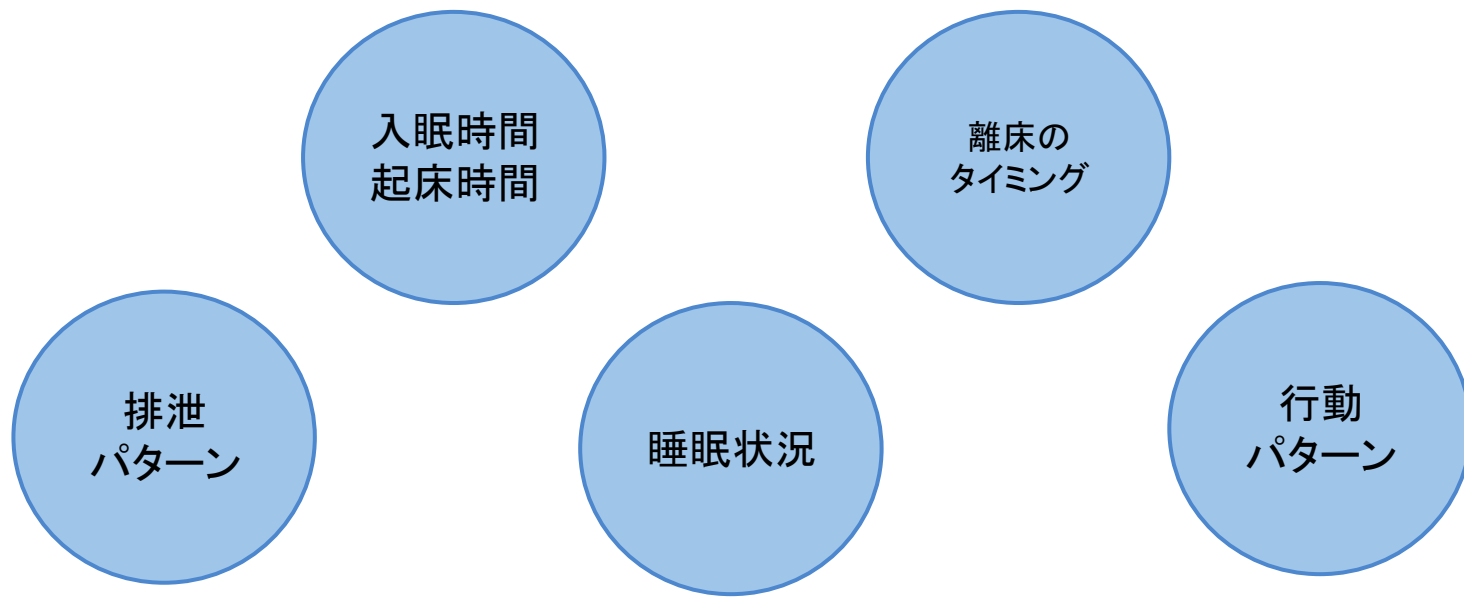
人感センサーやあけしめセンサーをご導入いただいているご施設では、ご入居者の動線をより正確に推測することができます。

右図の場合、事故の発見時間は23時ですが、睡眠データを見ると22時過ぎにベッドから起き上がり、トイレへ移動し、その後ドアの開閉が記録されていることが確認できます。



事故後に確認したいデータ

データからは睡眠状況や生活リズムなどの情報を読み解くことができます。
普段のご様子を把握し、その中からいつもと違う変化を捉えることが重要です。



データからケアにつなげる事例

時間のパターン化

「4時に起床して転倒が多い」

→ 4時前で眠りが浅くなってきた頃お声掛けする

日中活動と睡眠

「日中の睡眠時間が長い日は夜間離床が増える」

→ 日中活動量を増やす

排泄と不穩

「便秘3日目に転倒」

→ 排便コントロールを見直す

疲労とリスク

「入浴後の疲労により転倒が多い」

→ 入浴後の見守り強化

まとめ

💡 アラートは「個別設定」

身体能力やリスクに合わせて最適な種類を選択しましょう。

💡 「PDCA」で設定を最適化

動作時間に合わせて秒数を設定。アラートを見直す習慣をつけましょう。

💡 「アラートが鳴ったら行く」から「先回り」へ

履歴から行動の傾向を掴み、アラートに頼らない予測・誘導を目指しましょう。

💡 事故後は必ず「データ」で振り返る

睡眠や排泄などのデータを確認し、「いつもと違う」を見つけましょう。



本日はご清聴ありがとうございました。

開発・運営: エコナビスタ株式会社
〒261-0023
千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目3番地 幕張テクノガーデンB棟10階
TEL:050-5526-3869